

**SAF官民協議会
製造・供給ワーキンググループ
(第1回)**

事務局説明資料

令和4年7月29日

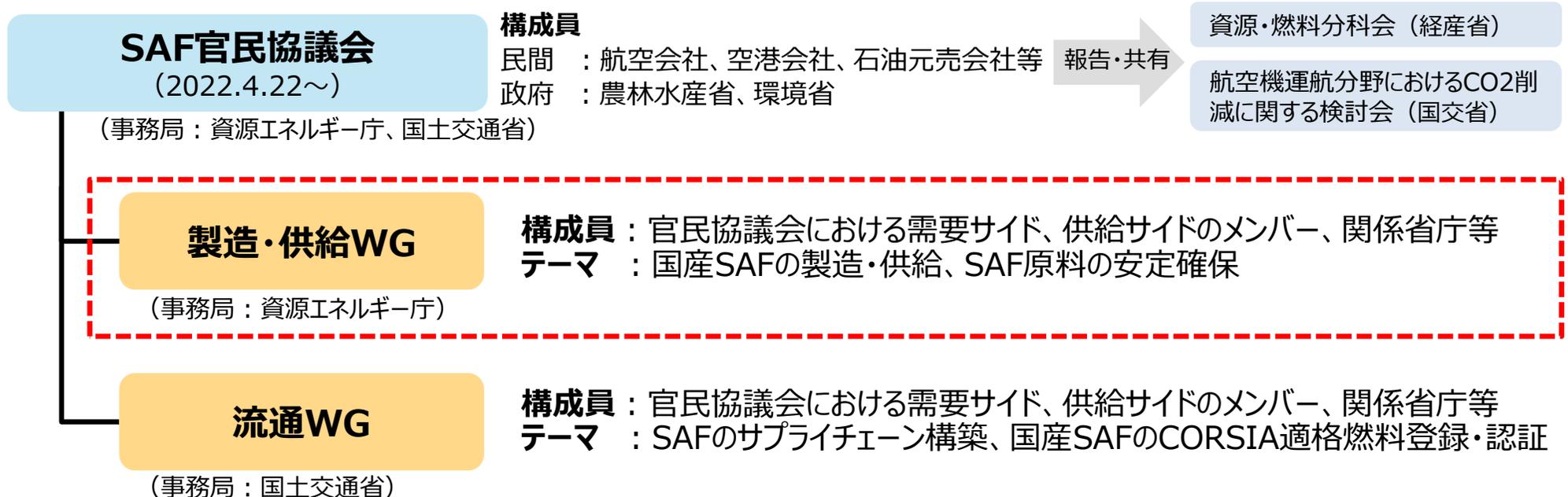
経済産業省 資源エネルギー庁

国土交通省 航空局

SAF官民協議会「製造・供給ワーキンググループ」の設置について

- 国土交通省は、2030年時点のSAF使用量として、「本邦エアラインによる燃料使用量の10%をSAFに置き換える」との目標を設定。この目標の達成に向けて、国際競争力のある国産SAFの開発・製造を推進するとともに、将来的なサプライチェーンの構築に向けて、供給側の元売り事業者等と利用側の航空会社との連携が重要。
- このため、令和4年4月、SAFの導入を加速させるため、技術的・経済的な課題や、その解決に向けたタイムラインを官民で共有し、一体となって取組を進める場として、「SAF官民協議会」を設立。
- SAFの導入にあたっての課題は多岐にわたるため、特に、国産SAFの製造・供給に関する課題について専門的な議論を行う場として、協議会の下に「製造・供給ワーキンググループ」を設置する。

<各会議体の関係>



※ WGの配布資料及び議事は、原則非公開とする。

※ WGでの議論は、事務局において取りまとめ、官民協議会に報告・共有。また、官民協議会からも、必要に応じて、WGにおいて議論すべき課題等を指示。